

賛否など態度決定に至った理由・討論

令和6年3月定例会	
議案番号 議案名	議案第91号 松戸市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
議員名・会派名等	市民力(山中啓之、湯浅文)
賛否態度	反対
賛否など態度決定 に至った理由や 討論	<p>※市民力は、本会議および委員会での討論という本来の発言を最大限に活かすことこそが議員の責務と考えます。非公式の場に、議会で発言してもいない意見を掲載するというやり方は、議員自らが議会における議論を軽視する行為であるとの考えから、以下、本会議・委員会など公の場で討論した内容を掲載いたします。</p> <p>こんにちは。市民力の湯浅文です。</p> <p>議案第91号 松戸市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について。市民力を代表して、反対の立場から討論させていただきます。</p> <p>本郷谷市長が当選時に掲げていた55のマニフェストの中の No.15 に「国民健康保険料の値下げ」ありました。</p> <p>現在の国民健康保険料の構造的な問題として、少子高齢化があります。少子化により、保険料を支払う生産人口が少なくなる一方、高齢になるほど医療機関を利用する機会が増え、医療費給付が増えるからです。</p> <p>内閣府の高齢社会白書によると平成 22 年 65 歳以上の高齢者人口は、過去最高であり、総人口に占める割合、高齢化率 23.1%となっています。21%以上は‘超高齢社会’とされ、この数字から制度を維持することが難しいことを当時から予測できなかったのでしょうか。もしも無理ならば、最初からマニフェストに掲げるべきではありませんでしたが、掲げた以上は任期中は守って頂きたいです。</p> <p>国保は仕事を失うなど経済的に不安定な立場の人たちや年金受給者などの医療を支える制度でもあり、今回唐突に 7,500 円の大幅値上げと言うのは更に生活に負担がかかることが強く懸念されます。市長が守りたいものは、保険料の負担軽減という市民との約束でしょうか、それとも、市民の負担を増やすことによる市の財政負担の軽</p>

減でしょうか？今一度よく考えて頂きたいです。同時に、我々議員にはそれを守らせるチェック機関としての機能を果たすために、市長を信じた市民に寄り添った判断が必要と考えます。

よって、今回の議案第91号に反対致します。  
皆様の反対へのご賛同を賜りますよう、宜しくお願いします。